

野洲学区自治連合会 子育て中会長に配慮

野洲市の野洲学区自治連合会は、子育て中の自治会長の負担を軽減しようと、連合会の会議に合わせて託児サービスを設けている。こうしたサービスを提供している自治連合会は珍しく、利用者からは安心して会議に参加できるとして好評だ。

会議に合わせ 託児サービス

好評「安心して参加」

同学区自治連には、区全体の会議を開催し18の自治会で構成されており、毎月1回、各自治会長が参加する学



託児サービスで赤ちゃんとお母さんと遊ぶシルバー人材センターの会員(野洲市小篠原・コミュニティセンター)の会



毎月開催されている野洲学区自治連合会の会

未就学児の子どものいる女性が就任。会議に参加してもらいやすくすると同時に、子どもを預ける負担を減らすと、自治連が費用を負担し会議中の託児サービスを提供することを決めた。

4月からサービスを始め、今月9日の会議の際には、市シルバー人材センターの女性2人が、会議が行われている部屋とは別の部屋で、生後8カ月ほどの赤ちゃんとおもちゃで遊んだり、話しかけたりして、1時間余りを過ごした。

毎回、2人の子どものうち1人を預けている自治会長の女性(30)は「夫も休日出勤があったり、子ども2人を1人で面倒見るのは大変なので、託児サービスを用意してくれているのありがたい」と喜ぶ。

同学区自治連合会の松宮泰文会長は「自治会長のなり手が少ないなか、若い人でも会長が務められるようにしたい。今後も小さい子どもがいる人が自治会長になれば、託児サービスを続けたい」と話している。

(石田真由美)